

笑顔大好き

発行者：常井洋治
〒319-0205 笠間市押辺1745
TEL.0299-45-6818
FAX.0299-45-0818



▲コロナ禍のため、長い間、県政報告会をできずにいましたが、やっと開催することができました。どうしても、今期を振り返り、議員としてどのように行動してきたのかを皆様に報告したかったのです。最後まで聴いていただき、感謝に堪えません。これからも地元笠間のために頑張ります。(令和4年9月25日)

— 燃える郷土愛。全力投球!! —

議長として、

県議会改革度日本一を達成!

早稲田大学マニフェスト研究所発表の都道府県議会改革度調査2021ランキングで1位

「開かれた議会」を目指して改革に

全力!

1 県民参画の推進

- (1)日曜議会を開催 (都道府県議会初)
 - 働く人たちや学生が傍聴できるように
- (2)青空対話議会を開催
 - 青空のもとで働く人たちや学生と県政を自由に語り合う

2 議会の監視機能の強化

- 県の重要政策について知事から議会への説明を「義務化」(県議会基本条例改正)

3 議会の体制強化、効率化の推進

- 災害時の議会・議員の行動計画 (BCP) を策定

令和4年県議会第3回定例会を終えて

TOPIC

輝く新時代に全力!

令和4年第3回定例会は、9月1日～28日までの28日間開かれ、補正予算など27件の議案が可決、同意、承認、採択されました。

新型コロナウイルス感染症対策関連予算（令和4年度）

（単位：百万円）

区分	当初予算	R4.4専決処分	R4.6補正	R4.7専決処分	R4.9補正	合計
一般会計	175,098	800	9,807	960	4,234	190,899

※単位未満の四捨五入により、合計と各項目の足し上げが一致しない場合がある。

令和4年度9月県一般会計補正予算を可決

◎補正予算 **117億75百万円**

◎補正後予算※ **1兆3,051億83百万円**

※R4.7専決処分960百万円（営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金）を含む

主な事業

(1)コロナ禍における原油価格・物価高騰等対策

①生活者への支援

- ・低所得の子育て世帯生活応援特別給付金事業 **2,698百万円**
物価高騰等の影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、県独自に対象児童1人当たり5万円の特別給付金を交付
- ・学校給食等物価高騰対策事業 **16百万円**
県立学校における給食等の食材高騰分に対する支援

②事業者への支援

- ・飼料価格高騰緊急対策事業 **326百万円**
配合飼料価格安定制度生産者積立金の増額分及び自給飼料の生産拡大のための取組に対する支援
- ・資源循環型農業構造転換緊急対策事業 **169百万円**
化学肥料を削減し、たい肥等の活用を図るために必要な機器整備等に対する支援
- ・儲かる産地支援事業 **156百万円**
省エネルギー・省施肥化等を図るための機器整備に対する支援
- ・販売スタイル転換型農業チャレンジ事業 **24百万円**
市場出荷・量産型経営スタイルからの脱却を図るための新たな販売方法の導入等に対する支援
- ・農産園芸共同利用施設整備事業 **14百万円**
県内小麦産地の生産基盤強化を図るための機器整備等に対する支援

- ・体験型観光促進事業 **132百万円**
全国旅行支援と組み合わせた、県内の体験観光チケット（1人当たり1旅行2千円）の配布等

- ・いばらきエネルギーシフト促進事業 **713百万円**
再生可能エネルギーの導入のための設備整備を行う事業者への支援

③その他

- ・県有施設電気料金等高騰対応関連事業【茨城県立医療大学付属病院特別会計含む**1,206百万円**】 **1,172百万円**
電気料金等の高騰に対応した県有施設の光熱水費の補正

(2)県政の課題等への対応

- ・防犯対策強化事業 **16百万円**
地域の防犯力強化のための運送事業者等と連携した監視強化キャンペーンの実施
- ・観光施設民間活力導入検討事業 **22百万円**
伊師浜国民休養地等の魅力向上に向けたマーケットサウンディング調査の実施
- ・いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト事業 **10百万円**
企業版ふるさと納税を活用した、高校生対象のeスポーツ大会等の開催
- ・スマート農畜産業促進関連事業 **4百万円**
スマート機械を導入する農業・畜産業者に対する支援
- ・米平公共育成牧場災害復旧費 **18百万円**
6月の降雨で被災した米平公共育成牧場の法面崩壊箇所の復旧

- ・児童福祉施設等災害復旧費 **1百万円**
3月の福島県沖地震で被災した児童福祉施設の災害復旧に対する補助

(3)社会資本の整備

- ・国補公共事業 **5,354百万円**
幹線道路や防潮堤等の整備
- ・県単公共事業 **931百万円**
資材高騰及び緊急修繕箇所の追加に対応した増額補正

文教警察委員会の質疑要約（R4.9.16）

【警察本部】

- 新設の4車線バイパスが開通すると、信号機がないと住民は道路を横断できず、集落は分断されてしまう。基準をあてはめて設置するだけでなく、地域社会の持続可能性を維持していくという観点を持つべきだ。
- 寄付やクラウドファンディングによる信号機設置や、新たな基準の策定など柔軟に考えていくべきだ。

【教育庁】

- IT未来高校には、茨城県の未来がかかっている。ITに長けた子供の選抜方法など、あらゆることを考えていくべきだ。
- シリコンバレーのようなIT拠点の創造（畜産試験場跡地に）など、夢のある視点を持った校長を選考すべきだ。



文教警察委員会での質疑の様子

【警察本部】

常井委員 直近の県内における信号機の設置総数と設置要望数、設置要望に対する設置数を確認したい。

柴久喜交通規制課長 県内の信号機総数は令和3年度末現在で6,253基。信号機設置要望数は令和3年度で375件あり、そのうち設置した数は25基となっている。

常井委員 25基というと約7%だが、375件の要望数にはこれまで設置されなかったものも含まれるのか。

柴久喜交通規制課長 設置要望は毎年1月にとりまとめを行っており、令和3年度は設置要望数375件のうち新規要望が90件で、残りの285件は前年度と重複した要望となっている。

常井委員 警察署には、市町村からも新規や継続での多くの要望があがっているのかと思うが、笠間市では、要望をいくつあげても、設置できる見込みがなく、これからは2箇所ぐらいに絞るといふ話も出ている。それほど信号機の設置要望に対する箇所付けが少ない。信号機を新設する場合はどれくらいの費用がかかるものなのか。

柴久喜交通規制課長 交差点の形状や道路環境により、費用が異なることから一概には答えられないが、概ねプログラム多段式の信号機は1箇所につき約650万円、押しボタン式信号機は1箇所につき約350万円となる。

常井委員 4車線バイパスが新設されたり、国道・県道・市道が2車線から4車線に拡幅されると、地域の人たちは信号機がないと道路を渡り切れない。そうすると、集落は分断され、田んぼや畑に行くにも、長いところでは1キロ先の横断歩道まで行かなくてはならない。お年寄りや道路を横断できず、お墓参りにもいけない。子どもたちも通学するのに相当遠回りせざるを得ない。

355号の4車線バイパス化(福島・小島地区)で信号機の設置要望を出しても、交通量が基準に達していないという理由で実現できていないわけだが、4車線と交差する従前の道路(従道路)の交通量を増やすなんてことはどうやってできない。これでは永久に設置できないことになり、何らかの方法を考えなくてはいけないと思っているが、信号機の設置基準には交通量以外にどのようなものがあるのか。



下安居地区

▲茨城中央工業団地(笠間地区)内から岩間ICに向かう4車線新設道路予定地。下安居地区では、手前の居住区域と奥のお寺(白堀)が分断され、「お墓参りにもいけなくなってしまう」「田、畑へも遠回りになってしまう」と、たくさんの方の心配の声が上がっている。(R4.10月)

柴久喜交通規制課長 平成27年に全国統一基準となる「信号機設置の指針」が制定され、5つの必須条件が設けられた。1点目が安全にすれ違うために必要な車道の幅員確

保、2点目が横断待ちの際に必要な滞留場所の確保、3点目が主道路(4車線のバイパス)の1時間の往復交通量が最大時で300台以上、4点目が隣接する信号機との距離が原則150m以上離れていること、5点目が運転者や歩行者が良好に視認できる信号柱の設置となっている。

常井委員 (主道路の交通量がクリアできても、バイパスと交差する従前の道路(従道路)の交通量が必要になるとのことだが)これはどうやっても増やしようがない。タヌキだって、穴を掘って横断できるようにしているのに人間は横断できない。地域の人たちからは、押しボタン式で待ち時間が長くていいから設置してもらいたい、バイパスができたら旧道の信号を移設すればいいのではないかとという声もある。県警には、基準にあわせて設置すればいいというのではなく、地域社会の持続可能性を維持していくんだという観点を持って取り組んでもらいたい。

押しボタン式信号機の費用が350万円くらいなのであれば、寄付やクラウドファンディングによる設置もできるのではないかと思うがその点はどうか。



福島・小島地区

▲4車線化された国道355号石岡岩間バイパス。福島・小島地区の小学生は、この道路を渡って登校するため、信号機の設置要望が出されている。交差道路の交通量不足が理由で留保されており、横断歩道部分を2車線に絞っているものの、とても危険な状態だ。(R4.10月)

柴久喜交通規制課長 県民に対する行政サービスは公平に提供されるものと認識しており、警察が行う信号機の設置もその1例であり、その費用を警察以外の者が負担できるとなると、費用負担が可能な警察以外の者による信号機が多数設置されるという不公平感が生じることになる。このため、信号機設置のための寄付等は受け付けていない。

岡田交通部長 信号機の設置指針は、全国の統一性を図るため、昭和41年に国が制定したもので、その後も随時見直しが進められ、現在の指針は、平成27年に改正されたものである。指針は運転免許証の考え方と同様で、都道府県ごとの運用となれば、全国統一の交通事故防止対策が図れないことになるため、国の指針に基づいて取り組んでいる。信号機の設置要望については、現場を調査した上で指針に抵触しないか確認しているが、信号機を設置できない場合は、その場所に最も適した代替策をとっている。寄付については、現段階ですぐにということはなかなか困難な部分もあるが、しっかりと研究していきたい。

常井委員 指針の改正については、国にしっかりと要望してもらいたい。また、県警には道路(4車線のバイパス)を作る段階から積極的に関与してもらうとともに、財源の

問題で信号機の新設が少なくなっているのであれば、寄付やクラウドファンディングを財源にした方法も考えていくべきである。4車線バイパスの開通で、地域の人たちの生活が困難になるという状況はできるだけ避けなければならない、県警として別の基準を考えるなど、柔軟に考えていかなければ、集落そのものが存続できなくなってしまう。この委員会後も、引き続き知恵を使ってもらいたい。最後にもう一度言うが、従道路の交通量を考慮している限り、地域が望んでも信号機は設置できない。改めて柔軟な対応をお願いしたい。



▲国道355号石岡岩間バイパスの福島地区。地元の要望により、中央分離帯の一部を削る設計変更をしたものの、現在は封鎖されている(写真中央)。市野谷地区と福島地区を結ぶ大事な生活道路で診療所もある。私は、押しボタン式信号機でもいいからと設置を働き掛けている。(R4.10月)

【教育庁】

常井委員 IT未来高校について、学校説明会を行ったと聞くが、どのような状況だったのか。

柳橋高校教育課長 学校説明会は、夏休み中の7月29日と8月2日に行い、80名の募集の倍以上となる162名の中学3年生に参加してもらった。内容は、コース別の教育内容や施設設備、学校行事、部活動などである。

常井委員 県外からの参加者はいたのか。

柳橋高校教育課長 参加者は県内の中学生で、県内全域と広範囲に及んでいた。

常井委員 IT未来高校は全国初のIT専科高校ということで、待っていた子供たちもいると思う。選抜までまだ時間があるが、IT未来高校で何ができるのか、工事を早めて見学できるようにするなど、子供たちのモチベーションを

つないで、ITに長けた尖(とが)った子供たちを確保できるようにすべきだと思うがどうか。

柳橋高校教育課長 来月の10月29日には、2回目の説明会を開催し、特色選抜の入試に関する説明を行う予定。前回の説明会では、工事中で見れない部分が多くあったが、パソコンのスペックに関する高度な質問もあり、ITに長けた子供たちが注目してくれていることに我々もうれしく思っている。入試までの間、教育内容の具体を説明して特色を伝えていきたい。

常井委員 ITの拠点を茨城県におけるかどうか、茨城県の未来がかかっている。ITに長けた子供の選抜方法など、あらゆることを考えてやっていってほしい。

IT未来高校でも校長の公募を行うが、ふさわしい人物としてどのような人を想定しているのか。

柳橋高校教育課長 2点あり、1点目はIT技術に幅広く深い経験を持ち、子供たちが目指す最先端なものに対応できること。2点目は民間企業等との連携が必要になるため、民間企業や大学等との人脈を持ち、情報に精通していることが必要だと思っている。ただし、子供たちを育てたいという強い情熱を持っていることが大前提となる。

常井委員 視野を広くして、県の畜産試験場の跡地に、シリコンバレーのようなIT拠点をつくるなど、地元や茨城のためになる構想を描けるような、夢のある視点を持った校長を選考できるようにしてほしい。

柳橋高校教育課長 夢を抱かせられるような学校経営を選考の中で確認できるようにしていきたい。



▲友部高校で、来年4月に開校するIT未来高校の学校説明会が開催された。大きな期待をしている。(R4.8月)

とこい洋治が見つけた地元の元気！



▲かさま新栗まつりのPRで、笠間の栗の生産者、加工販売業の皆さんとともに大井川知事を訪問。(R4.10月)



▲県政報告会では、たくさんの方にご臨席いただきました。(R4.9月)



▲第46回笠間市民美術展覧会の写真部門で市長賞を受賞した小泉浩郎さんと。(R4.9月)



▲茨城県ボディビル・フィットネス連盟(会長常井洋治)主催の選手権大会が県笠間芸術の森公園で開催された。(R4.9月)

HPアドレス●<http://business2.plala.or.jp/tokoiy>をぜひご覧ください。

フェイスブックもどうぞご覧ください。皆様のご意見をお待ちしています。

YouTubeチャンネル「とこいは、やります。」を開設しました。ぜひご覧ください。

ホームページ フェイスブック YouTube

